

予算	款	項	目	決算書
				496 頁

目名
—

事業名称
公共下水道事業

1. 概要

目的	生活排水を適切に処理し、公共用水域の水質を保全するとともに、公衆衛生の向上を図る。	対象	処理区域内の市民
事業概要	<p>○公共下水道事業・・・大野町田中処理区域内の汚水を処理する</p> <p>【処理人口】367世帯 920人</p> <p>【排水区域面積】76.7ha</p> <p>【年間処理水量】107,012m³</p>		

臨/経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	公共下水道事業	処理人口 920人 処理水量107,012m ³	償還金 利子 および 割引料	96,536	91,761		17,100	56,717	17,944	3
計				96,536	91,761	0	17,100	56,717	17,944	

2. 指標設定

成果指標	指標名	汚水処理人口普及率		H27	指標の設定理由			
	数値	53%			総合計画/後期基本計画において、基本施策(3-1-2)の目標としているため			
活動指標	指標	a	公共下水道	b	c	d		
	数値	目標	1,198人	目標	目標	目標		

3. 実績（上段・実績/下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
汚水処理人口普及率	%	45.6 %	48.1 %	53.2 %
		86.0 %	90.8 %	100.4 %

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 公共下水道	人	1,189 人	1,199 人	1,196 人
		99.2 %	100.1 %	99.8 %
b		—	—	—
		—	—	—
c		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
浄化槽の普及率は伸びているが、汚水処理人口普及率は、県下あるいは全国的に見ても下位に位置している。
対応（改善点等）
浄化槽の普及を促進するとともに、公共下水道への接続を促進する。

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

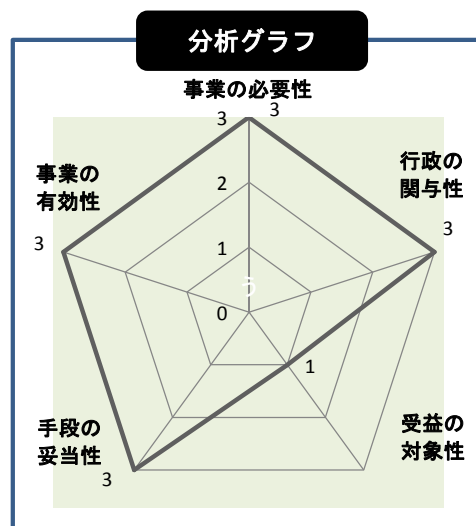
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
		122,641	93,849	91,761	99,125
うち経常経費					
財源内訳	国費				
	県費				
	市債	35,200	24,400	17,100	17,600
	その他	45,217	9,658	56,717	2,506
	一般財源	42,224	59,791	17,944	79,019
うち経常					
事業費に係る人件費		—	—	—	—
事業費に係る人役		—	—	—	—

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
起債の償還、施設の維持管理に一定の経費が必要となるため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 良質な水環境づくりのため、生活排水による公共用水域の負荷を低減させる必要がある。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により市が実施主体になることが定められている。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 処理区域内の住民を対象としている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 汚水処理人口普及率を向上させるために必要な事業である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 汚水処理人口普及率が伸びている。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き未収金の回収に努めるとともに、適切及び効果的な事業実施を図ること。経営のあり方を検討すること。